

報告文 平成 23 年度 北海道函館建設管理部「委託業務優秀管理技術者表彰」を受賞して



共通事業本部 環境部
R C C M (建設環境部門) 早瀬 洋一

この度、弊社が受注した「江差木古内線特対工事(公投)道路環境調査委託その 2」におきまして、平成 23 年度 函館建設管理部「委託業務優秀管理技術者表彰」を受賞することができました。弊社としては、北海道(建設管理部)発注の業務として、初めての受賞ということであり、社長以下社員一同慶賀に堪えないところであります。この場をお借りし、関係各位に対し心から厚く御礼申し上げる次第であります。

本業務の道道江差木古内線は、江差町、上ノ国町、木古内町を経て、函館市を結ぶ主要道道であり、地域の医療や物流、日常生活を支える重要な路線となっております。しかし、路線区間の一部には、線形の改良や縦断勾配の緩和などの改良を必要とする箇所があり、また、北海道新幹線の開業に向け、安全で円滑な道路交通の確保に向けた改良工事が計画されているところです。

こうした状況下、本業務は道道江差木古内線改良工事に伴うこれまでの自然環境調査で確認された重要鳥類の生息状況の把握、及び事業実施に伴う周辺環境への影響予測と保全対策の検討を行ったものです。本業務の技術的な内容としては、以下の通りです。

○調査計画

- ・ 既存文献等から、調査対象種(重要鳥類)の影響範囲の想定及び調査範囲を設定。
- ・ 空中写真等から、調査対象種の営巣や採餌場としての利用の可能性が高いエリアを調査重点箇所として設定し、効率的かつ効果的な調査を計画。

○現地調査

- ・ 調査対象種の営巣や採餌の環境特性把握と、調査範囲内における営巣や採餌の環境と同様な環境の分布状況の確認。

○影響予測及び保全対策検討

- ・ 調査対象種の現時点での営巣や採餌の状況、及び今後の利用の可能性から影響を予測。
- ・ これまでの自然環境調査結果から、対象種以外の動植物についても影響予測を行い、今後の事業円滑化と環境保全との両立に向けた対応方針(年次計画)を検討して提示。
- ・ 今後のモニタリング調査の必要性を検討した上で、次年度以降の調査計画を立案。

建設事業における環境配慮、環境保全への要求内容は、近年の環境意識の高まりや様々な研究から得られた新たな知見により、年々高度化、多様化してきております。今後も、北海道を拠点とする建設コンサルタントの一員として、北海道の地域特性や実情を常に意識し、「自然環境と調和した建設事業への貢献」並びに「地域に根ざし、発注者の要求に応える技術サービスの提供」ができるよう、より一層努力し、技術力を磨いていきたいと考えております。

最後になりますが、本業務の遂行にあたり御指導を賜りました函館建設管理部江差出張所の皆様に対し、重ねて御礼を申し上げます。